

令和6年度

学校評価報告書

(自己評価)

令和7年3月17日(月)

沖縄県立中部商業高等学校

目 次

一 令和6年度学校評価の目的及び実施方法

- 1 目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 3 実施概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

二 令和6年度学校評価実施計画

- 1 評価の種別・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 2 日程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 3 各評価の実施方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

三 学校評価（自己評価）

- 自己評価（アンケート結果考察）・・・・・・・・・・・・・2～

（付録）学校評価に係る生徒・保護者・教職員アンケート結果

- (1) 生徒アンケート結果
- (2) 保護者アンケート結果
- (3) 教職員アンケート結果

一 令和6年度学校評価の目的及び実施方法

1 目 的

この要項は県立学校管理規則第63条、学校評価実施要項(平成14年3月26日県立学校教育課長決裁)及び本校学校評価実施計画に基づき、教育活動全般にわたって、総合的・客観的・具体的に評価し、成果と課題等を明確にして教育目標を達成するために行う。

2 基本方針

- (1) 本校生徒、保護者、教職員、学校評議員に対して学校評価アンケートを実施する。
- (2) 学校評価(自己評価)結果について、学校評議員会で報告する。
- (3) 学校評価(自己評価)結果を本校Webページに掲載する。

3 実施概要

【対 象】本校生徒、保護者、教職員、学校評議員

【質問項目】学校生活、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、健康安全、家庭地域との連携
研修(サービス含む)・衛生管理、働き方改革(3軸5視点)

【評価法】「5:満足している」「4:ほぼ満足している」「3:どちらともいえない」
「2:あまり満足していない」「1:不満である」

【評価判断基準】A:4.0以上(良好である。十分目標を達成した)

B:3.0以上~4.0未満(概ね良好。概ね目標を達成した)

C:2.0以上~3.0未満(改善が必要。目標達成が不十分である)

D:2.0未満(改善が急務。目標達成がきわめて不十分である)

(1) 生徒アンケート

- ・学校生活、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、健康安全
- ・Formsによる回答(LHR等を活用)

(2) 保護者アンケート

- ・学校運営、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、健康安全、家庭地域との連携
- ・依頼文書及びアンケート用紙の配布
- ・Forms及びアンケート用紙による回答

(3) 教職員アンケート

- ・学校運営、教科指導、進路指導、生活指導、特別活動、健康安全、家庭地域との連携、働き方改革(3軸5視点)
- ・Formsによる回答

(4) 学校評議員アンケート

- ・学校運営、学習指導、進路指導、生活指導、特別活動、健康安全、家庭地域との連携
- ・アンケート用紙又はFormsによる回答による回答

二 令和6年度学校評価実施計画

1 評価の種別

(1) 自己評価

教職員アンケート及びその他の評価資料に基づき評価する。

(2) 学校関係者評価

自己評価及びその他の評価資料をもとに評価する。

2 日程

1/17 (月) ～ 2/7 (金) 生徒・保護者・教職員へ実施

2/20 (木) 学校評議員会で結果報告

3/14 (金) 第3回 PTA 評議委員会

3/14 (金) 県教育庁へ報告

3/28 (金) 学校 Web ページへ掲載

三 学校評価 (自己評価)

1 自己評価 (アンケート結果考察)

【生徒アンケート】

(1) 学校生活

学校生活3項目においてB評価になっているが、学校の施設・整備に関しては平均3.3である。(表1)

【表1】

学 校 生 活	1	学校は楽しい。	3.8	27.8%	33.6%	28.7%	6.0%	3.9%	B
	2	各学科の行事や学校行事が充実している。	3.8	27.1%	21.1%	34.1%	15.1%	9.8%	B
	3	学校の施設・設備は、学習しやすいよう整備されている。	3.3	17.8%	23.8%	35.5%	13.1%	9.9%	B

項目別で見ると、「学校は楽しい」において肯定的な回答(5～4)が61.4%(昨年度61.9%)となっている。また、「各学科の行事や学校行事が充実している」は、平均で3.8(昨年3.7)である。生徒の自主性や協調性、他者を思いやる取組にしていけることが重要である。「学校の施設・設備は、学習しやすいよう整備されている」は、平均3.3(昨年3.5)と0.2ポイント減少している。施設の老朽化も要因の1つと考えられるが、自由記述にもトイレの整備を要望する内容が多数あった。

(2) 学習指導

全体的に肯定的な回答が過半数以上を占めており、平均3.8である。(表2)

【表2】

学 習 指 導	4	先生は、1人1台端末(タブレット等)活用して分かりやすく興味関心が持てるように教え方を工夫している。	3.5	17.1%	31.7%	37.0%	9.4%	4.7%	B
	5	先生は、一方的な説明だけでなく生徒同士の話し合い活動や発表などの授業を行っている。	3.9	27.6%	40.5%	25.1%	4.1%	2.8%	B
	6	先生は、生徒の特徴を理解し個に応じた学習支援に努めている。	3.8	24.2%	38.8%	29.3%	3.6%	4.1%	B
	7	先生は、学習評価について適切に行っている。	3.9	29.1%	40.0%	25.7%	3.0%	2.1%	B
	8	学校は、講習や各種講座など資格取得に向けた取り組みを行っている。	4.0	33.4%	40.0%	22.3%	1.7%	2.6%	A

学習指導に関しては、「先生は、生徒の特長を理解して、個に応じた学習支援につとめている」「学習評価も適切に行っている」も平均 3.85 と高い。指導と評価において、生徒から理解されていると思われる。また、多様な指導が共通理解のもと取り組まれている結果であると考えられる。「学校は、講習や各種講座など資格取得に向けた取り組みを行っている」は、平均 4.0（昨年 4.0）と A 評価と高い。その特性に応じた指導面での充実が今後も重要であり、求められている。

(3)進路指導

「進路指導」の質問項目は、平均 3.9（昨年 3.9）である。（表 3）

【表 3】

進 路 指 導	9	学校の授業や行事などは、将来に結び付く（役立つ）内容である。	3.9	27.4%	40.0%	27.8%	2.1%	2.6%	B
	10	学校は、進学や就職のための講座や面接指導が充実している。	3.9	30.6%	36.2%	29.1%	2.4%	1.7%	B
	11	先生は、将来の進路や働くことのことについて適切なアドバイスをを行っている。	3.9	31.9%	37.3%	25.1%	4.1%	1.7%	B

「進路指導」については、平均が 3.9（昨年 3.9）であり、高い評価になっている。しかし、「どちらともいえない」「あまり満足していない」「不満である」と回答している生徒の割合が約 30%である。これは、自身の将来に対して、受け身的な意識を持っている生徒がおり、進路意識が高まる取組みの充実・強化が不可欠である。特に入学時からの卒業の後のキャリアをどのように描いていくか、学校の教育活動を通したなキャリア教育の取組みの充実が求められる。

(4)生活指導

生活指導に関する取組については、平均 3.9（昨年 3.9）と昨年同様にすべての項目で高い傾向にある。（表 4）

【表 4】

生 活 指 導	12	学校は、ルールやマナー・身なりに関する指導をきちんと行っている。	3.9	31.7%	37.3%	24.0%	3.4%	3.6%	B
	13	学校は、人権侵害防止に関する指導をきちんと行っている。	3.9	33.4%	36.0%	24.8%	3.2%	2.6%	B
	14	学校は、勤怠（遅刻・欠席・欠課）に関する指導をきちんと行っている。	4.0	36.6%	37.7%	21.4%	1.7%	2.6%	A
	15	学校は、飲酒・喫煙・薬物等に関する指導をきちんと行っている。	3.9	37.5%	29.8%	25.3%	3.6%	3.9%	B
	16	学校は、交通安全教育に関する指導をきちんと行っている。	4.0	36.4%	36.2%	24.0%	1.5%	1.9%	A

「生活指導」については、昨年度と同じ評価である。生活指導に関する生徒意識は、全体的に肯定的であると考えられる。

(5)特別活動

特別活動に関しては、全体として 3.9（昨年 3.9）昨年同様にすべての項目で高い傾向にある。（表 5）

【表 5】

特 別 活 動	17	ホームルーム活動は、クラスの仲間と協力して活発である。	3.9	33.2%	33.6%	27.6%	3.0%	2.6%	B
	18	部活動や生徒会活動が充実している。	3.9	28.5%	37.9%	27.4%	3.6%	2.6%	B

各学年・各学級がこれまで以上に創意工夫した、取り組みをしていく必要がある。

(6)健康安全

健康安全に関する意識は平均で約4.0（昨年4.0）と昨年度と同様に全ての項目で高い傾向にある。（表6）

【表6】

健康 安全	19	先生は、生徒の悩み相談にのってくれる。	3.9	31.0%	33.4%	29.6%	1.9%	4.1%	B
	20	学校の保健室や教育相談室は利用しやすい。	4.1	40.9%	31.0%	25.1%	1.5%	1.5%	A
	21	学校は、いじめ防止や人権を尊重する講話などの取り組みを行っている。	4.0	33.8%	37.0%	26.3%	0.6%	2.1%	B
	22	学校は、日頃からいじめを相談しやすい雰囲気づくりやアンケート調査、声かけなどを行い、いじめの早期発見に努めている。	3.9	30.2%	35.5%	29.8%	2.1%	2.4%	B
	23	学校は、いじめが発生した場合、すぐに被害者を保護し、いじめの事実確認などいじめの解消に向けた対応を行っている。	3.8	27.6%	31.5%	35.5%	2.1%	3.2%	B
	24	学校は、安心・安全な学校生活が送られるよう適切な取組が行われている。	3.9	31.3%	35.3%	29.3%	1.7%	2.4%	B
	25	学校は、火災や自然災害が発生した際の避難経路を知らせている。	4.0	33.8%	37.7%	25.9%	0.2%	2.4%	A

保健室やサポートルーム「まある」等、生徒の居場所づくりに重点を置いた環境整備、支援体制及び雰囲気づくりが生徒に浸透している結果だと考えられる。今後とも学校全体として心理的安全性の向上に努めた学校づくりを続けていくことが重要である。

【保護者アンケート】

(1)「A」評価について

今年度は12（昨年6）の「A」評価である。（表7）

【表7】

学校 運営	1	生徒は、楽しい学校生活を送っている。	4.0	25.5%	57.4%	12.8%	4.3%	0.0%	A
	2	学校の教育方針や教育目標が明確である。	4.0	29.8%	42.6%	25.5%	2.1%	0.0%	A
学習 指導	6	先生は、一方的な説明だけでなく生徒同士の話し合い活動や発表などの授業を行っている。	4.0	34.0%	34.0%	31.9%	0.0%	0.0%	A
	8	先生は、学習の評価に関して、適切におこなっている。	4.1	31.9%	51.1%	12.8%	2.1%	2.1%	A
	9	学校は、講習会や各種講座など資格取得に向けた取り組みが行われている。	4.1	34.0%	46.8%	17.0%	2.1%	0.0%	A
進路 指導	10	学校は、進路について必要な情報を十分に知らせている。	4.0	29.8%	46.8%	19.1%	2.1%	2.1%	A
	11	学校は、進学や就職のための講座や面接指導が充実している。	4.0	31.9%	42.6%	23.4%	0.0%	2.1%	A
生活 指導	15	学校は、勤怠（遅刻・欠席・欠課）に関する指導をきちんと行われている。	4.1	34.0%	46.8%	17.0%	2.1%	0.0%	A
	16	学校は、飲酒・喫煙・薬物等に関する指導をきちんと行われている。	4.0	29.8%	48.9%	14.9%	6.4%	0.0%	A
特別 活動	18	学校は、各学科の行事や学校行事が充実している。	4.2	40.4%	42.6%	17.0%	0.0%	0.0%	A
	19	学校は、部活動や生徒会活動が盛んである。	4.1	38.3%	38.3%	17.0%	6.4%	0.0%	A
健康 安全	21	学校は、生徒の健康や安全管理に気を配っている。	4.1	27.7%	51.1%	21.3%	0.0%	0.0%	A

昨年度のA評価は、6 つであった。今年度は「学校運営」（質問 1・2）、学習指導（質問 6.8）生活指導（質問 15）特別活動（質問 18）の 6 つが新たに増えた。

質問 6 に関しては、「満足している」の割合が昨年度(23.9%)より 10.1%も増加しており、授業に関して生徒同士の協働的な活動が行われていると感じている保護者の割合が増加していると考えられる。また、同様に生徒も平均 3.9(表 2 質問 5・6・7) と高い。

(2)家庭地域との連携

「家庭地域との連携」については、以下のとおりである。(表 8)

【表 8】

家庭 地域 との 連携	26	学校は、広報誌やホームページ、メーリングサービスなどを活用した広報が充実している。	3.9	31.9%	38.3%	17.0%	10.6%	2.1%	B
	27	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に取り組んでいる。	3.9	27.7%	42.6%	23.4%	6.4%	0.0%	B
	28	学校は、保護者や地域の要望に応えている。	3.9	21.3%	46.8%	27.7%	4.3%	0.0%	B
	29	学校は、保護者へ連絡等をきめ細かくおこなっている。	3.7	23.4%	38.3%	25.5%	8.5%	4.3%	B

「家庭地域との連携」においては、平均 3.85 全体的に高いが、現在 PTA 役員は 3 名と役員の加入率が非常に低い現状にある。今後、魅力ある PTA の取り組みに参画できる雰囲気づくりを進めていかないとはいけない。

【教職員アンケート】

(1)「A」評価について

アンケート設問 32 問中平均 4 以上の A 評価となっているのは 5 問（昨年 9 問）である。(表 9)

【表 9】

学校 運営	4	学校は、教室内外・トイレの掃除など、校内の環境美化・整備によく取り組んでいる。	4.0	25.0%	60.4%	10.4%	2.1%	2.1%	A
学習 指導	8	学校は、生徒の学習評価について評価基準に照らし、適切に行えている。	4.0	12.5%	58.3%	29.2%	0.0%	0.0%	A
進路 指導	10	学校は、進路について必要な情報を十分に知らせている。	4.0	16.7%	68.8%	12.5%	2.1%	0.0%	A
	11	学校は、進学や就職のための講座や面接指導が充実している。	4.0	27.1%	52.1%	18.8%	2.1%	0.0%	A
働き 方改 革(3 軸6 視点)	32	学校において、同僚と良好な人間関係が構築できている	4.1	23.5%	64.7%	8.8%	2.9%	0.0%	A

昨年度と比較して、学校運営に関する評価（質問 4）、学習指導に関する評価（質問 8）、進路指導に関する評価（質問 11）が A 評価への改善されている。

特に学校運営に関する評価（質問 4）においては、昨年同様 4.0 と高い評価となっている。昨年度から中商パワースポット化計画のスローガンのもと環境整備部を中心とした取り組みが定着していると思われる。

学習指導（質問 6）において生徒 3.9（表 2）保護者 4.1（表 7）と同様に高い。学習指導と評価におい生徒生徒、保護者からの信頼関係は高いと考えられる。

進路指導においては、教職員と生徒の評価平均が同じように高評価であり、教職員の日頃の進路指導に対し、理解している考えられる。

また、今年度より、新たに働き方改革（3軸6視点）に関する質問項目を4項目追加した。（表10）

【表10】

働き方改革（3軸6視点）	29	学校は、職員の健康管理について適切な助言や相談に取り組んでいる。	3.5	10.4%	41.7%	37.5%	8.3%	2.1%	B
	30	学校は、法令遵守を含め職員の資質を高める職員研修の充実が図られている。	4.0	20.8%	56.3%	22.9%	0.0%	0.0%	B
	31	学校は、個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保できている。	2.6	4.2%	16.7%	37.5%	25.0%	12.5%	C
	32	学校において、同僚と良好な人間関係が構築できている	4.1	23.5%	64.7%	8.8%	2.9%	0.0%	A

「学校は個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保ができているに関してC評価となっている。働き方改革推進計画「みんなの学校！ピースフル・プラン」を基に取り組んでいる所であるが、まだ、職員意識の変容に至るところまでは至っていないと考えられる。在校等時間の「見える化」などを行っているが、個人の裁量（ゆとり）だけに焦点化すると全体としてまだ課題がある。同僚同士の人間関係はA評価と高い数値を示していることから、学校・教師が担う業務の適正化について、制度面及びハード面等において実情を踏まえた環境整備を更に進めていく。

(3)「C」評価について(表11)

「生活指導」「働き方改革」項目におけるにおいて3つの質問項目においてC評価になっている。

【表11】

生活指導	13	学校は、ルールやマナー・身なりに関する指導をきちんと行われている。	2.8	4.2%	18.8%	39.6%	29.2%	8.3%	C
	15	学校は、勤怠（遅刻・欠席・欠課）に関する指導をきちんと行われている。	2.6	2.1%	16.7%	37.5%	27.1%	16.7%	C
働き方改革	31	学校は、個人の裁量（ゆとり）ある時間の確保できている。	2.6	4.2%	16.7%	37.5%	25.0%	12.5%	C

昨年度と同様、「生活指導」に関する質問13・15に関しては、生徒支援システム等の活用などにより、数値により可視化されているため、職員からは平均2.7と厳しい評価になっていると考えられる。生徒、保護者への同じ質問（13・15）では、平均3.9あり、職員と1.2ポイント意識の差がある。学校組織として同僚間で、より効果のある高い指導を求める傾向があると考えられる。

【総括】

「学校生活」「学校運営」においては、B評価(生徒・職員・保護者)と概ね良好である。教育目標を基に生徒の実態に応じた取り組みが図られていると考えられる。

「生活指導」において、職員の満足度は、平均3.14であり、昨年（平均3.4）より0.26ポイント減少している。8項目の中で満足度が一番低い。しかし、生徒・保護者は、平均は、3.9となっており、0.76ポイントの差がある。生徒指導に関して、職員意識の中に、指導に対する個業化とそれに伴う負担意識があると考えられる。学校全体としての職員間の共通理解が再度必要であると考えられる。

「学習指導」においては、生徒、保護者からの評価平均は、3.8と比較的高い。しかし、「1人1台端末(タブレット等)活用して、分かりやすく興味関心が持てるように教え方を工夫している」は3.6となっており、満足できる意識になっていない。1人1台端末の効果的な活用を学校全体として更に進めていく取組が求められる。

「進路指導」においては、昨年同様、生徒・保護者・教職員ともに満足度が高い。しかし、進路未定で卒業する生徒もあり、1・2年生からの計画的なキャリア教育の取り組みの充実が求められる。

「健康安全」においては、昨年同様、生徒・保護者・教職員ともに満足度が高い。保健室、教育相談、生徒支援部等の連携を密にした体制づくりの維持が重要であると考えられる。

今後とも、教職員・生徒・保護者が一体となって知恵を出し合い、学校生活が充実し、生徒一人一人が1つでも多くの思い出が残る高校生活を送れるよう取り組みたい。